

授業科目

摂食・嚥下障害学演習

担当教員名 今井 信行、西尾 正輝	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

摂食・嚥下障害学で学んだ基礎知識をもとに、摂食嚥下障害の検査・評価方法について、実技演習を通して、さらに理解を深める。精密検査である嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査は、多くの検査映像を通して、病態の多様性と機能障害の重要ポイントについて学習する。授業日程の後半で、治療・訓練法（嚥下リハビリテーション）について、食品を用いない間接訓練や、食品を用いた直接訓練を、実技演習を通して実践できるよう学ぶ。食事場面での環境調整や姿勢制御、食物形態の調整・嚥下食などの代償的方法についても理解を深める。

授業の目的

- 1、摂食嚥下機能の正常像を把握し、障害との差異を理解し説明できるようになる
- 2、摂食嚥下障害を評価する検査方法・評価方法を、相互実習を通して理解し実践できるようになる
- 3、摂食嚥下障害の治療・訓練方法を理解し、相互実習を通して実践できるようになる

学習目標

- 1、正常な咀嚼運動、嚥下運動とその強調運動を理解するとともに、障害との差異について理解し説明できるようになる
- 2、摂食嚥下機能の検査・評価方法を理解し、的確に実践できるようになる
- 3、摂食嚥下障害の訓練法として間接訓練を理解し、的確に実践できるようになる
- 4、摂食嚥下障害の訓練法として直接訓練を理解し、的確に実践できるようになる
- 5、摂食嚥下障害の代償法について理解し、的確に実践できるようになる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	咀嚼運動、嚥下運動の協調運動	演習	今井 信行
2	摂食嚥下障害の検査・評価1. (スクリーニング検査)	演習	今井 信行
3	摂食嚥下障害の検査・評価2.	演習	今井 信行
4	摂食嚥下障害の検査・評価3. (頸部聴診法)	演習	今井 信行
5	吸引法	演習	今井 信行
6	口腔ケア・排出訓練	演習	今井 信行
7	摂食嚥下障害のリハビリテーション (間接訓練・直接訓練) 概論	演習	西尾 正輝
8	間接訓練 1	演習	西尾 正輝
9	直接訓練 1	演習	西尾 正輝
10	直接訓練 2	演習	西尾 正輝
11	代償法：姿勢の調整	演習	西尾 正輝
12	代償法：食物形態の調整	演習	西尾 正輝
13	摂食嚥下障害のリハビリテーション総括	演習	今井 信行
14	摂食嚥下障害の訓練プログラムの立案	演習	今井 信行
15	まとめ	講義	今井 信行

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	動画でわかる摂食・嚥下障害患者のリスクマネジメント	藤島一郎、柴本勇	中山書店	2012年	3,800円+税	
	摂食嚥下障害の患者さんと家族のために 2巻 改定版	西尾正輝	インテルナ出版	2015年		

参考書	脳卒中患者の口腔ケア	植田耕一郎	医歯薬出版	1999年	4,700円+税	
その他の資料						

評価方法

授業態度、レポート、定期試験

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

今井信行 毎週水曜日12時30分～13時 連絡先 : imai@nuhw.ac.jp

西尾正輝 金曜日2時30分～4時20分 O410 nishio@nuhw.ac.jp